



くじ 市議会だより

第 7 号

2007年
(平成19年)
8月1日発行



— 水中の宝を目指して元気良く飛び込む子どもたち —
(北侍浜野営場開設30周年記念「はまフェスタ」の宝探しゲーム)

主な内容

- ・ 市議会を読む 6月定例会…………… 2
- ・ 一般質問…………… 3～9
- ・ 意見書／傍聴席からひとこと……………10

小久慈地区への養豚場

建設計画に論議が集中

第2回市議会定例会は6月15日から6月26日までの12日間開かれました。

6月定例会では、平成19年度一般会計補正予算など市長提出議案2件、議員発議案1件について審議しましたので、その内容と審議経過について紹介いたします。

また、各会派を代表して4人、個人で3人の議員が市政の諸問題について一般質問を行いました。

補正予算

●平成19年度一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算は、13億8千万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ18億8318万5千円とするもので、原案のとおり可決されました。

主な事業と予算額は次のとおりです。

・コミュニティ助成事業補助金

・ 障害者自立支援事業費
通所施設に対する送迎サービスに要する経費の助成
531万7千円

620万円

・ ナマコ増殖調査事業費
ナマコの生息状況調査を市漁協に委託するもの
50万円

・ 小中高キャリア教育地域ぐるみ推進事業費
児童生徒の勤労観、職業観

50万円

・ 児童生徒の勤労観、職業観

児童生徒の勤労観、職業観

条例等

6月定例市議会では、次の議案が審議、可決されました。

●土地改良事業の施行に関する議決を求めることについて
詳しくは「委員会の審査から」に掲載しました。

議員発議案

会派共同で提出された次の議案が、可決されました。

●「年金」問題被害者への速やかな補償を求める意見書の提出について
詳しくは最終ページの「意見書」をごらんください。

委員会の審査から

委員会での審査から

6月22日に開かれた産業経済委員会では、次の議案が審査されました。

概要は次のとおりです。

●土地改良事業の施行に関する議決を求めることについて
本議案は、畑田地区の農道及び用排水路の整備を行うため、議会の議決を得ようとするもの。

【問】この事業は、土地改良区が事業主体となるべきではないのか。

【答】公共性が高いこと、土地改良区からの要望等があったことから、市が事業主体となつて事業導入することとなった。

【問】用排水路整備計画を導入した経緯は。

【答】農道整備だけでは事業採択が厳しいこと、用排水路整備事業を組み合わせるることによつて、より事業効果があること等の理由から導入した。

そのほか、今後の計画、交通安全対策等について質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。



改選後初の市議会定例会の様子

● 一般質問

新 政 会 中 塚 佳 男 議 員



J R 八 戸 線 田 屋 町 付 近

【問】 通院、通学等利用者の利便と増加を図るため、三陸鉄道の新駅舎を田屋町地内に設置要望する考えは。

また、赤字の続く三陸鉄道の存続に向けた財政負担をめぐる県からの新提案についての市としての考えは。

【答】 三陸鉄道新駅舎の田屋町地内への設置要望については、J R 八 戸 線 の 運 行 路 線 で あり、経営主体が異なることに加え、駅舎建設の費用負担の協議が要件となり、現時点

三陸鉄道の新駅舎設置要望の考えは

● 市長―現時点では難しいと判断

では非常に難しいと判断している。

また、県から示された新提案は、三陸鉄道運営助成基金を取り崩して運営費補助に充当し、県及び関係市町村の負担額を減額しようというものであり、現在、県及び関係市町村で対応を協議・検討している。

【問】 市津波防災マップでは、湊町地区の大部分が浸水被害を受けると予測されている。

強工事を行い、平成11年度までに完了しているところであり理解いただきたい。

【問】 市道山岸線と旭町線及び門前源道線の交差点は、通勤時等に交通事故が増加しているが、交通安全対策は。

【答】 当該交差点での事故防止に向け、一部不鮮明な路面上の表示の補修を行うとともに、交通規制対策協議会等でさらなる対応策について協議してまいりたい。

路整備計画は現在持ち合わせていないところであり、今後の検討課題としたい。

また、市道久慈夏井線については、今年度は計画交通量調査等を予定しており、引き続き県道昇格、県代行業業としての整備に向け協議を重ねてまいりたい。

【問】 新井田地区、学校前地区の水害対策として、ポンプ場を整備すべきでは。

【答】 新井田地区は、公共下

地域住民が安心・安全な生活を送れるよう、湊町地内の防潮堤のかさ上げと補強工事を早急に再開すべきと思うが考えは。

【答】 湊町地内の防潮堤については、高さを8メートルとする既設防潮堤のかさ上げ補

【問】 田屋町地内市道下山線から新井田地内小山線までの間にJ R 八 戸 線 南 側 に 沿 い、市道を整備すべきと思うが考えは。

【答】 また、市道久慈夏井線の今後の整備促進は。
【答】 J R 八 戸 線 沿 い へ の 道

水道雨水計画で事業認可されしており、財政事情等を勘案しながらポンプ場の整備に取り組む考えである。また、学校前地区は、今後、事業認可区域に取り込んでいきたいと考えている。

各会派の 関連質問

新 政 会

◆ 上山 昭彦議員

【問】 長内中学校の移転に関わって、旧商業高校の改修工事後の移転時期が、3年生の進学準備と重なると思われるが、工事の日程は。

また、改修工事終了から移転までの期間の、植え込み管理や草刈りなど環境整備と防犯対策は。

一般質問は、6月20日・21日の2日間行われ、各会派を代表して、中塚佳男、高屋敷英則、城内仲悦、桑田鉄男の各議員が代表質問を、また、山口健一、小倉建一、梶谷武由の各議員が個人質問を行いました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

一般質問

清 風 会 高屋敷 英 則 議員

【問】 限界集落への支援・対応を伺いたい。

【答】 限界集落とは、65歳以上の高齢者が集落人口の半数を超え、冠婚葬祭などの社会的共同生活維持が困難な状態の集落とされる。

市内の状況は、平成17年国勢調査において4町で10地区だった。

市では、地域コミュニティ

載しているが、現時点では入所待機者もない実態にあることを踏まえ、事業計画の精度を高める段階と考えており、

具体的整備計画策定には至っていない状況である。

なお、今後の需要に対する対応については、入所希望者の推移を見きわめながら調査研究してまいりたい。

【問】 老朽化が著しい市営住

【問】 グリーンツーリズム推進の、全市的な組織の立ち上げについて、今後の取り組みは。

【答】 これまで山形地区では、恵まれた自然を生かし、都市部から農林業等体験の教育旅行、野外活動等の受け入れを進めている。

平成17年度に「いわてやまがた農民泊研究会」が結成

山村留学の

推進を

【問】 山村留学を積極的に推進すべきと考えるが。

【答】 山村留学は、子供が減少する中、教育環境の充実、地域の活性化、学校存続の願いなどから制度化されたもので、特色をいかした学習指導など評価すべき点がある。

今後は、教育環境の充実や学校施設の維持経費、山村留学のあり方に検討を加え、平成22年度まで学校を維持し、その後、小規模校の将来方針により対処したい。

限界集落への支援策は

●市長―県の支援事業を見きわめ市の対策を検討

振興事業等を通じて支援してきた。県では、新たに草の根

コミュニティ再生支援事業を創設して具体的支援策を講じる。それらを見きわめ、市としての支援策を検討したい。

【問】 生活支援ハウスの増築計画は。

【答】 生活支援ハウス整備については、新市建設計画に登

宅の改築・補修の計画は。

【答】 栄町地区市営住宅の移転整備を検討している。萩ヶ丘市営住宅を含めて、残る3団地の整備と全住宅の補修計画については、新市の公営住宅ストック総合活用計画を策定し、改築・修繕計画等を総合的に検討して住環境整備に

努めてまいりたい。

されてグリーンツーリズムへの取り組み、研究、実践が順調に行われている。

今後は、提言の趣旨を踏まえつつ、山・里・海の恵まれた自然環境を活用し、久慈市全体としてのグリーンツーリズムの推進に取り組んでまいりたい。



地域の皆さんと学校農園づくり（繫小学校）

【答】 移転工事については、6月末に入札を行い、12月中旬までには完了したい。受験生等の学習環境には影響のないよう学校側と十分協議し進めたい。

また、開校までの環境整備や防犯関係については、教育委員会として責任を持って対応してまいりたい。

◆泉川 博明議員

【問】 磯根漁業の振興のため、県と連携して補助金を増額し、一層のアフビ、ウニの種苗放流事業を推進して、漁家の所得向上を目指すべきと思うが。

【答】 つくり育てる漁業の推進は重要であり、現在、アフビ、ウニ種苗放流に補助している。県に対しても重点要望事項として予算枠の拡大について要望している。

◆木ノ下 祐治議員

【問】 旧北限閣は、5月末には民間企業によって営業を始める予定ではなかったのか。早期に活用すべきではないか。

【答】 東京に本社のある企業の企画提案を受け、12月から半年にわたって交渉してきたが、事業計画のかなめである現地法人の立ち上げができない事態となり、5月末で交渉を打ち切っ

【問】市道沢里川通り線は市道認定後すでに10数年が経過し、連たん戸数も増えているが、整備手法と時期を示せ。

【答】整備については、今後財政事情をみながらなるべく早くアスファルト切削材を利活用した防塵処理と家屋連たん部における側溝整備に努力したい。



早期整備が望まれる市道沢里川通り線

【問】天神堂地区、天満宮の奥の沢は、宅地開発が進み住宅が建ち並んでいるが、雨水被害がたびたびある。この対応策及びこの沢に1本の青線があり、土地改良区の用水路

でとまっているが、当然久慈川までつなぐべきと思うが改善策を示せ。

【答】天満宮付近の住宅地に被害を及ぼしている実態について現地調査したところ、被害原因は、山腹から雨水排水対策がなされていないことと推定され、その対応は今後の検討課題とさせていただきたい。

また、同地区の排水は土地改良区の用水路に接続してい

市道沢里川通り線の整備を

●市長―なるべく早期の整備に努力したい

るが、当該用水路の改善の必要性は認識しており、今後財政状況等をみながら公共下水道雨水排水計画に基づいて整備を図っていきたい。

【問】小久慈地区市有林への養豚団地計画だが、上水道水源付近に誘致するのは問題で

はないのか。地域住民、市民との合意が図られているのか。

【答】上水道水源付近に誘致するのは問題ではないかということだが、排せつ物及び排水の処理対策は、事業用地内で処理すると事業者から聞いており上水道への影響はない。地権者及び地域住民等の理解が不可欠との基本的認識から市が同席して事業者の説明会を2回開催した。今後も隣接地権者等への説明をつくし理

か、完成年度はいつか。

【答】本年度は、建設に向けた基本構想の策定に着手する考えであり、教育現場やPTA等関係者の意見を反映できる環境を整えながら進めたい。具体的改築計画については今後関係部局との協議・検討を加えた後の提示となる。

【問】乳幼児医療制度の拡充について、所得制限を撤廃した場合の所要額、及び小学校6年生まで拡大を図るべきと

解を求めていく。

久慈小の

改築計画は

【問】久慈小学校校舎、体育館の改築計画案をいつの時点でPTA、地域住民に示すの

【答】所得制限をなくした場合の市の負担額は2000万円の見込み。小学校6年生まで対象者を拡大することについては、他の制度改革等の動向を注視しながら現行で対応したい。

た。7月に全国公募し、交渉相手を探ってまいりたい。

◆澤里 富雄議員

【問】新市がスタートして1年3カ月経過したが、市長としての評価は。

また、2010年3月の合併新法期限内に広域合併を進めるのか、広域圏のリーダーとしての考えは。

【答】合併して1年余が経過したが、合併して良かったと総合的な評価を自分自身では行っていない。

広域4市町村の合併が最も望ましいと考えており、それぞれの首長、議会、住民の考え方に常に注視しながら、広域合併に向けて、私なりの努力をしてまいりたい。

◆中平 浩志議員

【問】市内業者の育成及び市の活性化のため、物品購入や事業発注時の入札に、市内業者・商店等を優先して参加させるような制度を見直すべきでは。

【答】市では、これまでもそのような姿勢で取り組んでおり、競争性を確保しながら入札を行うため、業種によっては市への業者登録をするよう声かけするなど対応をしてみたい。

一般質問

日本共産党久慈市議員

城内 仲悦 議員

一般質問

政 和 会 桑 田 鉄 男 議 員

【問】 市が策定した財政健全化計画の具体策を示せ。

【答】 歳入においては、収納率の向上等による市税収入の確保や使用料、手数料の見直しなどを行い、歳出では、職員数の縮減による人件費の削減や事務事業の見直しによる物件費、単独補助金の削減、普通建設事業の抑制など、合

会久慈分科会及び管内町村との協議を行い、時期を的確にとらえて適切に対応してまいりたい。

また、JRバスに対する路線統廃望とあわせ、JRバスの路線廃止を想定した総合的なバス対策も検討しているところであり、路線系統や時刻表を設定した、より具体的

障があると聞いている。対策については、久慈地方振興局林務部に対し、崩落の防止対策を要望しているが、費用対効果等から極めて難しいとのことである。

また、事業採択のためには、この地区の保安林指定を現在の魚つき保安林から土砂崩落防備保安林への指定替えが必

要となる。今後とも関係団体等と連携し対策を要望していきたい。

【問】 県道待浜停車場阿子木線の特に狭い箇所だけでも早期改良を要望すべきと思うが

【答】 待浜町堀切地内の木材流通センター付近から市道角柄交差点付近までは、道路幅員が狭小であり、車のすれ違いにも支障をきたす状況となっており、今後拡幅改良により、交通の安全が図られるよう県に要望していきたい。

【問】 岩手県林業公社の解散による当市への影響と対応策を伺う。

【答】 当市はこれまで、林業公社に対し、4億1700万円の貸し付けを行っており、平成18年度末現在の未償還債権額は、利息を含めて5億5600万円となっている。

県有林事業への一元化後においても、当市の債権保全がなされるよう引き続き県と協議を進めてまいりたい。

◆清水 崇文議員

【問】 小集落の維持、活性化のため、回塊の世代の定住化等についての市の考え方は。

【答】 回塊世代の「Kタウン」という形でホームページの立ち上げやツアーを企画・実施した。今後ともいろいろな形で久慈市の魅力発信のため取り組んでまいりたい。

清風会

◆畑中 勇吉議員

【問】 旧北限閣の利活用について、企業との交渉が決裂した原因と、今後の利活用についての考えは。

閉館にあたり、これまでの宿泊客、特に県外の利用客等への対応は十分だったのか。

【答】 現地法人の設立ができなかったことが一番の要因である。今後は、多様な用途での活用等を検討したい。

閉館後の対応については、気配りが不足していたので、速やかに対応してまいりたい。

◆堀崎 松男議員

【問】 昨年の大雨災害で定置網が被害を受けたが、土俵（網を固定するおもり）を新たに設置しなければならない場所がある

財政健全化計画の効果は

●市長—10億2300万円の財政効果を生み出す

わけて10億2300万円の財政効果を生み出そうとするものである。

【問】 JRバス路線廃止計画の撤回要請の成否判断の時期を早め、次のバス対策の取り組みをすべきと思うが。

【答】 最終的なJRバス路線存続の成否の見きわめの時期については、JRバスとの交渉や岩手県生活交通対策協議

な方策を検討してまいりたいと考えている。

水尻地区の

崩落対策は

【問】 通称「水尻地区」の崩落地崩落による漁場への影響と対応策は。

【答】 本年3月ごろから崩落が顕著となり、ウニ漁等に支



水尻地区のがけ地崩落現場

【問】 AEDの推進について、多くの市民はAEDがどこにあるのか、また、使い方がわからない人も多いと思うが、普及啓発をどのように考えているのか。

【答】 AEDの配備については、目標としてきた旧町村単位への配備はおおむね達成しており、今後は保健所等と連携しながら、市民への配備の周知や、救命講習会の開催など普及に努めてまいりたい。

ドクターヘリの活用は

【問】 先日の、久慈、二戸、八戸三圏域連携懇談会でドクターヘリのデモフライトが行われ、多くの市民が見学した。当市として、ドクターヘリの活用をどのように考えているのか。

【答】 三圏域連携懇談会は、ドクターヘリを八戸市民病院に配備することを目指しており、配備されると、久慈地域



ドクターヘリのデモフライト

AEDの普及啓発の推進策は

●市長―久慈保健所等と連携し普及に努力

備すべきではないか。

【答】 学校におけるトイレは、小中学校34校のうち19校が水洗化されており、洋式便器については、すべての小中学校で常設又はポータブルの洋式便器を保有している。

また、公民館等社会教育施設については、10施設のうち8施設が水洗化されており、38.7%が洋式である。

もドクターヘリを活用した効果的な救命医療の提供を受けることができ、救命率の向上や後遺症の軽減につながることから、有効な活用ができるものと考えている。

【問】 公共施設のトイレの改修について、学校や公民館などの水洗化や洋式トイレの設置が望まれており、早急に整

水洗化及び洋式化については、利用者のニーズと財政状況を勘案しながら対応してまいりたい。

〔その他の質問項目〕
入札制度について／市政改革プログラムについて／妊産婦の負担軽減について／休耕田の活用策について ほか

のか。ある場合、その費用に対する助成は。

【答】 土俵については、復旧済みと認識している。これに対する支援については、現在のところ考えていない。

◆八重櫻 友夫議員

【問】 小久慈地区への養豚場建設計画について、住民説明会の前に議会や議員に対して説明すべきではなかったのか。

また、建設場所を選定した経緯は。

【答】 地元議員には、住民の方々と一緒に事業の説明をしたいとの考えで進めたもの。

また、場所については複数の候補地の中から、いろいろな条件を勘案して決定したと聞いている。

日本共産党久慈市議団

◆小野寺 勝也議員

【問】 小久慈地区への養豚場建設計画に関わって、糞尿は施設外へ出さないとのことだが、運搬作業等で敷地内に拡散し、それが雨によって地表や地下に浸透することはないのか。

【答】 排せつ物については、固形物は堆肥化し、尿については、連続活性炭汚泥方式により、国の

基準以下の水にしたうえで、約3haの蒸散施設へ地下パイプで送り蒸発散すると聞いている。

政和会

◆藤島 文男議員

【問】 久慈溪流鏡岩園地の公衆トイレに手洗い設備がない。衛生上及び施設管理のうえからも設置すべきと思うが。

また、安全対策上から防護柵のかさ上げと車止めの位置の再検討をすべきではないか。

【答】 トイレの手洗いの整備については、発電所の水の利用や不老泉からの取水などこれまでも検討してきたが、多額の事業費が見込まれること等から現在の状況が続いているが、簡易的なものなど至急検討してまいりたい。

また、安全対策及び車止めの部分開放など関係部局と協議して対応したい。

◆砂川 利男議員

【問】 代替市民バスも視野に入られて検討しているとのことだが、現在のJRバス運行と同じレベルの安全を確保することができるとの体制を検討しているのか。

【答】 今のJRバス路線と同じ状態での運行を前提とはしてい

一般質問

公明党

山口 健一 議員

一般質問

民主党 小倉 建一 議員

【問】 市長選初出馬の際の公約であった市長多選自粛条例あるいは多選禁止条例制定についての現在の考えは。

【答】 旧久慈市において自律規定の観点から検討を進めてきたが、山形村との合併という状況変化により提案に至らなかった。現時点でも自律規定の考え方は変わらないが、今後とも憲法解釈の動向等を注視しながら提案内容、時期を見きわめてまいりたい。

【問】 達増新知事の進める東北・沿岸振興の取り組みについての評価は。

【答】 エコパーク平庭高原整備事業の本年度着工や八戸地域と連携した広域観光推進事業の6月補正予算への計上などこれまでの要望等について理解を得てきている。今後、県の施策と一体となり振興に努めてまいりたい。

【問】 いわて森のトレー裁判の状況と今後の見通しは。

【答】 これまで2回の口頭弁論が実施され、3回目の開催



動きだした県のエコパーク平庭高原整備

市長多選自粛条例制定の考えは

● 市長―提案内容、時期を見きわめて

によって国への返還金の回収努力をしてまいりたい。

【問】 ネット事業で期待されたテレビの地上波デジタル放送に伴う難視聴対策としての有線テレビ放送（ケーブルテレビ）事業の可能性は。

【答】 難視聴対応策が、今年度及び来年度予定されている二戸、久慈及び野田中継局からのデジタル波の受信状況を検証し検討したい。有線テレビ放送もその方策の1つだ

にむけて、13回の弁論準備手続が実施された。現在、原告・被告双方の争点整理の継続中であり、原告と被告が法廷で闘うという裁判日程は見通せる状況にはないが、引き続きいわて森のトレー生産協同組合及び県と連携し、勝訴

ない。通勤・通学・通院に影響のないよう、市民の足を確保することとして取り組んでおり、運送事業者の最大の使命は、安全第一であると認識している。

◆ 佐々木 栄幸議員

【問】 小久慈町は小久慈焼、久慈琥珀、海の見えるダムなど観光名所が多い。養豚場建設は、観光客等に悪いイメージを与えかねない。再検討すべきではないか。

【答】 地域の中で、まだまだ環境問題に対する不安があることについては、十分認識しており、住民の方々の不安をなくするため、事業者の協力を得ながら、既に設置されている養豚場を視察していただき説明をする機会を設けるなど、地域の方々の理解を得ていきたい。

◆ 下館 祥二議員

【問】 今年度、山形地区及び山根地区に携帯電話中継施設の設定が計画されていたが、進捗状況は。

【答】 山形町戸呂町地区と山根町に中継塔を建てる計画で、現在進めている。山根地区については、地権者との交渉に時間がかかり着工が遅れたが、両地区とも今年度内に供用開始の予定と

聞いている。

◆ 大沢 俊光議員

【問】 北日本造船(株)久慈工場の誘致は、雇用対策としても、また、海を持つまちの産業のあり方としても市民ともども非常に大きな意義を感じている。昨年の高潮・高波等で工場が被害を受けたが、企業のさらなる拡大・成長のため行政としての支援策は。

【答】 国や県に対して、湾口防波堤の1日も早い築造を要望するとともに、当面の対策として、消波ブロックの設置について要望しており、国等で調査・研究している段階である。

◆ 濱欠 明宏議員

【問】 市役所庁舎へのエレベーターの設置は財政上難しいとのことだが、車イスの方を初め市民の福祉向上のため、2階に上がるスロープの設置など庁舎の改修を進めるべきでは。

【答】 障害者にやさしい市役所庁舎にしなければならぬ。各種受付を1階ホールで行うことや、車イスの方が2階にある場合は職員が手を貸すなど、当面、ソフトな点での対応に努めたい。

● 一般質問

社会民主党

梶谷 武由 議員



本の紹介・陳列を工夫した小学校図書室（東京都東大和市）

【問】 古文書や民具、遺跡から発掘された土器などは、市内各地にある施設に保管されているが、長内中学校移転後の校舎を「郷土資料館」として整備活用すべきと思うが。

【答】 文化財の保管及び展示施設として、仮称「郷土文化館」の構想を策定中であり、長内中学校移転後に施設整備に着手したい。

【問】 国は、小中学校図書館の蔵書の標準冊数達成に向け、地方交付税を50%増額しているが、市の予算では逆に10%の減額となっている。久慈市における学校図書充足状況

と今後の整備計画は。

【答】 図書標準に基づく充足状況は、小学校81・2%、中学校63・6%、全体で74・3%である。

図書標準の達成についてはその対応に苦慮しており、当面充足率の低い学校に重点的に予算配分を行い、全体の底上げを図りたい。また、継続的な予算確保に努めたい。

【問】 税源移譲に伴い所得税

長中移転後の校舎を「郷土資料館」に

● 教育長―郷土文化館として整備する

と住民税の課税率に変更になった。平成18年末以降の退職で収入が減額した人等は、この住民税の増額は大きな負担である。軽減措置が必要と思うが。

【答】 所得の変動に伴う負担増を調整するための経過措置として、平成20年7月に減額

申告受付を行う。

【問】 バス路線問題は、福祉の視点で取り組む必要があると思うが。

【答】 バスは通学、通院、通勤等有効な交通手段である。効率的な運行を目指し、路線と便数、福祉バス、患者輸送バス、スクールバスの混乗など総合的に検討してまいりたい。

【問】 養豚場建設にあたって、

環境への影響について事前に調査を行うのか。

【答】 現在のところ、敷地外に排水しない計画であり、環境アセスメントの対象になっていない。建設に当たっては基準に沿った整備、環境に配慮した造成を行うと事業者から聞いている。

市政調査会が

養豚場を視察

― 九戸村の(株)南部ファーム ―

久慈市政調査会（会長 佐々木栄幸議員）は、6月定例会一般質問で各会派が取り上げた小久慈地区市有林への大規模養豚場建設計画（(株)南部ファーム本店九戸村）に関し、施設設備や臭気等の調査・研究のため、去る7月11日に九戸村の同社農場を視察しました。

今回の養豚場建設を計画している(株)南部ファームは、現在、九戸村と洋野町で養豚農場を営んでおり、小久慈地区への建



九戸村の大規模養豚場を視察



尿の処理水槽

市政調査会

市政の調査、研究、協議及び広域議員との交流等を行い、市政の振興に寄与することを目的として、議員全員で構成されています。

設計画では、繁殖から肥育までの一貫生産で年間約4万頭を出荷する予定となっている。調査会では、今後も情報収集のため、小久慈地区の建設候補地である市有林、市道等の現地調査や市当局との意見交換を行う予定としています。

意見書

「年金」問題被害者への補償を求める意見書

衆議院議長、内閣総理大臣等へ提出

6月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、衆議院議長ほか政府関係機関等に提出しました。

■「年金」問題被害者への速やかな補償を求める意見書

(概要)

公的年金は、国民の高齢期等における生活を支える重要な制度であるが、社会保険庁における年金保険料の納付記録の管理がずさんであったという実態が明らかになった。保険料を納めたのに年金が受け取れない、あるいは本来

の受給額より少ない額しか受け取っていないという被害者が大勢いることも判明した。よって、これまで納付した保険料に見合った年金を受給できるように、次の事項について強く要望する。

- 1 全国の社会保険事務所や市町村の元台帳とコンピュータのデータを照合し、全ての納付記録が正確に入力・管理されるよう調査・訂正すること。
- 2 全ての加入者に納付履歴を送付し、速やかに納付記録

傍聴席からひとこと

市議会を傍聴して

林崎 立身 さん
久慈市侍浜町



今回、市議会定例会を2日間傍聴しました。

合併によって新たに久慈市民となった人たちも含めた初の選挙で選出された、新生久慈市の議員の皆さんによる活気あふれる議会に期待しての

活気あふれる久慈市に

現在、中心市街地の活性化に取り組んでいるわけですが、方向を間違えないよう、商業

傍聴でした。各質問者そして執行側の答弁を聞き、市長さん初め皆さんがそれぞれの持ち場で立派な答弁をされており、さすがと思えました。

また、市財政が非常に厳しい中、いろいろ考えているのが見えました。森のトレーや第二の夕張市にならないように、当局、市議会とも充分なるカジ取りに期待するものです。

者や久慈市民もこれで良かったと思えるように取り組んでほしいものです。

久慈市には大企業もなく、雇用の場が少なく、若者は都会に出ていく状況です。定住できる場を作り、活気あふれる久慈市に、安心して住めるようにしてください。

これからも皆で知恵を出し合い、すてきな「久慈市」になるよう希望するとともに、議員や当局各位の今後のご活躍をお祈りいたします。

最後になりましたが、「クールビズ」の一環ということで、ノーネクタイでの開催でしたが、さわやかで良かったと思います。

本会議・委員会でクールビズを試行

- 3 加入者の証言を最大限に尊重して補償すること。
- 4 年金問題要因の解明と年金制度及び社会保険庁の改革を求める。

市議会では、6月定例会でクールビズの試行に取り組みました。地球温暖化対策及び冷房費節減のため実施したもので、今回は試行でしたが、議員、傍聴者の評価もおおむね良かったことから、今後の議会での本格実施を検討します。



〔傍聴者の声〕

- ・ スッキリして清潔感があり
- ・ 冷房費が抑えられ環境問題にも良いので積極的に取り組むべき。
- ・ 傍聴席の暑さがこたえた。

編集後記

議会広報編集特別委員会
委員長 小野寺 勝 也

雨にぬれた紫陽花あじさいが街のあちこちに咲いています。

さて、市議選後最初の定例会が6月15日から26日までの12日間開かれました。

一般質問には7人が登壇し、ほぼ全議員が関連質問を行いました。

新人議員の質問もあり、新鮮な雰囲気を感じられました。論議を呼んだのが、小久慈地区への養豚団地建設問題、JRバス路線の廃止をめぐる問題、県・市道の整備問題等でした。

いずれも市民生活に身近な問題であり、市民の関心も高いものと思われれます。

市民のくらしと関心事が議会に反映され、論議される、そんな市議会であつたと思います。

市民のみなさんの率直なご意見、ご要望をぜひお寄せください。



再生紙と大豆油インキを使用しています。